

支援員スキルアップ研修会②報告書

2024.1.2

担当:大野 文

日 程 2023年12月9日(土) 14:00~15:30 スタッフ13時集合

会 場 平塚市漁業協同組合 2階ホール

テーマ 「小中学生の心と身体」について ~スクールカウンセラー・ルームから~

講 師 西田紗也子氏 臨床心理士

大学卒業後、2014年より平塚市の小中学校でスクールカウンセラーとして従事し、港小学校や太洋中学校も担当。現在は9ヶ月のお子様の育休中。

申込み 支援員17名、深谷顧問、小泉顧問、平出監査、一般2名(スタジオペピカ様) 合計22名

経 費 講師謝金 10,000 円、交通費 1,000 円、菓子折り(なかよしより)

講師へのペットボトルのお茶1本

須賀の寺子屋 2023年度支援員スキルアップ研修会②「小中学生の心と身体」

ふり返しシートまとめ

学習支援員(11)・見守り支援員(2)・一般参加者(2)

① 受講の動機をお聞かせください。

スクールカウンセラーの先生の話聞くチャンスはなかなかないので聞きたかった。
支援員として当然それなりの知識が必要な内容なのに、ほとんど勉強する機会が無かったのだ。
毎回必要な学びなので
問題行動のある子どもの学習支援をしているため
役に立つと思った
臨床心理士の活動内容に関心があった。
カウンセリングは昔学習したことがあるので受けました。
今回のテーマに興味があったため。
臨床心理士さんの話を聞きたかった。
支援員としてのスキルアップのため
支援員を始めてまだ数ヵ月。太洋中学校や地域の様子、学習支援のお仲間や寺子屋のことなどをもっと詳しく知りたいと思い参加しました。
興味があった。
ここ数年、生徒たちの困り事が目に付くようになって来たことで、学校の相談室(スクールカウンセラー)の状況を知りたかったから。
子どもたちとのより良い関りを学べたらと思い参加しました。
興味がありました。

② 支援員スキルアップ研修会として、今回の研修会はどうでしたか。

1 良くない(0) 2 あまり良くない(0) 3 どちらともいえない(1) 4 良い(5) 5 とても良い(9)

具体的な声掛けなど聞いた。
「自分らしさとは」、「否定しない」、「共犯者になる」等子供達への対応だけでなく、実生活でも役に立つ内容を勉強できた。
新しい気づきや確認できたことが沢山あった。
子どもにとって、居場所がとても大切であることがよくわかりました。また、子どもが興味を持ってやっていること自体が居場所になることも初めて知りました。大人にも必要であるように思われます。
何もなくても会話が進む生徒と、なんとなく周りにバリエーションがあり話し難い生徒がいる。相手の信頼を受け、会話を進める方法について説明があり参考になった。
過去に学習したことを思い出した。そういう意味で良かった。
中学生の生徒の考え方を理解するのに役立った。
人間関係の作り方について、中学生の年頃の様子が分かった。
普段聞くことができない学校の相談員から、子供たちとのコミュニケーションにおけるアドバイスや気を付けていることを聞くことができたため。相談員としてのエピソードも具体的で興味深かった。
とても和やかで、有意義な研修でした。自分の頃はもとより、自分の子どもの時とも少し違う今の中学生が新鮮でした。
内容が、わかりやすかった。
現役スクールカウンセラーさんのお話を聞ける機会がないため、生徒の現状を知ることができたことはスキルアップ研修会として大変有意義だったと思います。

③ 今後、研修内容が須賀の寺子屋の一員として役立ちますか。また、どのように役立てますか。

1 全く役立たない(0) 2 あまり役立たない(0) 3 どちらともいえない(2) 4 役立つと思う(5) 5 大いに役立つ(7)

まず認めてあげることが大切だと思いました。
今迄は子供の話を聞くことより、勉強を進めることを最優先としていた気がする。今後意識してウエイト付けを変えて行こうと思う。
特に、通学の不安について基本的な見通しを持つことができました。一つ一つ納得ができる指摘できるなるほどと思いました。具体的にどう支援していくのかを考えることができました。
どのような内容でも子どもの話は否定せずに、こちらが興味を抱いてる様に聞いてあげられると思います。
最初に相手を否定せず、つながりを作りだんだんと本来の方向に導く方法は有効だと思います。
長い間の生活の中で本人自身の心の在り方がある程度決まってしまう方が多いと思う。新たな気持ちで研修を臨む、人間関係を改めて学ぶ態度が求められる。しかしなかなか変容させるのは難しいと思う。
それぞれの生徒の家庭環境が異なるので一概には言えませんが、概ね役立つと思いました。
自分たちが心掛けることを幾つか指摘していただけた。

説明があった子供たちとの接し方(子供の発言を否定しない等)は学習支援でも有効と思うから。
子どもを否定しないというお話しは、小学生も同じで、心していきたいと思います。具体的な先生の言葉がけの例は特になるほどと思い、そんなふうにアプローチしていけたらと納得しました。
子どもの理解と保護者の相談対応。
生徒への言葉遣いや基本姿勢は、学ぶところがあり、すぐに気をつけて対応したい所です。

④ 今回の研修の感想を自由にお聞かせください。

講師の一方的な話だけでなく、参加者が発言することも多くとても有意義でした。 今、子育てしている娘にも話して上げたい。
共感/共犯となることで介入のきっかけになるという視点はなるほどと思いました。支援全般に言えることだと思いました。
子どもが興味を持ってやっていることに対して、こちらは決して否定せず、ほめたり興味を持っているように演じて共犯者になってあげることが大事であることを知りましたので、実践したいと思いました。
自分の日常生活とは関係の薄かった研修内容であったが、相手を「否定しない」ことは色々な面で活かせると感じた。
心理学が教育に大いに役立つと思いました。又、思ってた以上に論理的に構成されていて興味が増えました。
50年も前に学習したロジャースの共感的理解という言葉思い出した。クライアントを中心に考えるカウンセリングの手法です。この考え方を基本に据えてこれからも人に接して行きたいと思う。 40年前に受け持った不登校の生徒は、生きるのがつらくて他学区に転居した。そして居場所と言えるのか小鳥を飼った。今では心療内科などに通院が普通になっている。しかし薬物による治療が増えていないのかどうか心配だ。
現場で体験された貴重な話を聞くことができて参考になりました。
10年ちょっと前に臨床心理の現場をのぞかせていただいた時とは違った雰囲気を感じた。
寺子屋での学習支援の様子や課題等について講師がどの程度事前にご存知だったか分かりませんでした。事前に共有しておく、支援員にとってより興味深い話が聞けたかもしれないと思いました。
先生のお人柄もあり、とても有意義で楽しい時間でした。
スクールカウンセラーがどのような役割をするのか、良くわかりました。太洋中学校の校長先生の出席でますますわかりやすかったと思います。
相談室の役割、スクールカウンセラーの存在を知ること、身近に感じる生徒や保護者が今後さらに増えて来ると良いと思いました。「大難が小難」に収まる例もあるのではないかとと思うと各小中学校に専任のカウンセラーが常駐していて、いつでもすぐに対応できる体制ができることを望みたいです。
否定しない！ 大切です。一つの地域に長く子どもの育ちを見守ることが理想的だと思いました。
自分の子ども(16歳・19歳)にも、パート先(3歳～6歳)にも役立つお話しでした。

⑤ 講師への質問等ございましたらお気軽にお書きください。

お身体に気をつけて子育てなさってください。またお会いしたいです。

またこのような研修会や懇談会に来ていただけるでしょうか。定期的に何年か毎に聞けたらありがたいです。お願いいたします。
まず相手方との信頼関係構築が重要と思いますが、何か相手から信頼されるように心がけておられることはありますか？ また、身なりや雰囲気による第一印象も大きな要素となると思いますが、こちらでもアドバイスがあればお願いします。（例えば暗い雰囲気であれば、相手も近づきにくい。）
神経伝達物質に作用する薬物などを使用しての治療が多くなっているのではないかと心配しています。その点はどうですか。 ロジャースのクライエント中心療法は支持されていますか。
中学生の計算しやすい要因を考えています。参考になることがありましたら教えてください。
年間に対応している件数と相談内容の内訳が知りたいです。
優しいお人柄ステキでした。花水にも来てほしいですー。
今日は貴重なお話をありがとうございました。これからも子どもたちのためにトトロでいてください。

以上